

2020年11月9日

各位

インフラファンド発行者名
タカラレーベン・インフラ投資法人
代表者名 執行役員 菊池 正英
(コード番号 9281)

管理会社名
タカラアセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 高橋 衛
問合せ先 代表取締役副社長 菊池 正英
(TEL: 03-6262-6402)

グリーンファイナンス・フレームワーク「Green1(F)」格付取得のお知らせ

タカラレーベン・インフラ投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、2020年11月9日付で公表した「グリーン・エクイティとしての新投資口発行及び投資口売出しに関するお知らせ」及び「資金の借入れに関するお知らせ」における新投資口（以下「本投資口」といいます。）の発行並びに資金の借入れにあたりグリーンファイナンス・フレームワーク（以下「本フレームワーク」といいます。）を策定しております。

本日、本フレームワークに対し、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」といいます。）より最高ランク「Green1(F)」の格付が付与されました。具体的には、JCRグリーンファイナンス評価手法に基づき、本投資法人の「グリーン性評価（資金用途）を“g1(F)”」、「管理・運営・透明性評価」を“m1(F)”とし、その結果、総合評価として最高ランクの格付が付与されました。

なお、本投資口は、上場投資法人初のエクイティ（投資口等の資本金性をいいます。以下同じです。）におけるグリーン評価（格付）を取得した本フレームワークに則り発行されるものです。

本投資法人は、借入金、債券等の負債性資金だけでなく、エクイティである本投資口についても本フレームワークに則り発行することで、よりESG（環境（Environment）、社会（Social）及びガバナンス（Governance）の3つの分野を総称していいます。以下同じです。）の意識の高い投資家のニーズに資するものと考えています。

エクイティも対象とする本フレームワークについてグリーン評価（格付）を取得することは、調達資金充当後において、エクイティは将来にわたって存続し、他のエクイティとの区別が困難となるため、エクイティの発行により調達した資金を充当した資産の管理はポートフォリオ全体で行うことが必要となること等の理由から、その投資対象全体において適格プロジェクトであることが要求される等ハードルが高いこともあり、本投資法人のESGにおける優位性を示すことができるものと本投資法人は考えています。

なお、本フレームワークに関する詳細情報については、JCRのWebサイト(<http://www.jcr.co.jp/>)をご参照ください。

以上

*本投資法人のホームページアドレス：<http://tif9281.co.jp/>